初版作成日：　2023/02/17

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：　ポリマーシーラント 55ml

製品番号 (SDS NO) : 00013-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 自動車塗装保護用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

製造元 : 株式会社本荘興産

住所 : 〒711-0934 岡山県倉敷市児島塩生2764-3

電話番号 : 086-475-0950

FAX : 086-475-0952

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

誤えん有害性 : 区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分 3

水生環境有害性 長期(慢性) : 区分 3

(注) 記載なきGHS分類区分 : 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

H402 水生生物に有害

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

P273 環境への放出を避けること。

応急措置

P331 無理に吐かせないこと。

P301 + P310 飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。

貯蔵

P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
水素化された石油軽留分	64742-47-8	1 - 10	9-1689; 9-1700; 9-1702

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

水素化された石油軽留分

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

水素化された石油軽留分

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石鹸で優しく洗う。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

応急措置をする者の保護

保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

燃焼の際は煙、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

蒸気を吸入しないために風上に移動する。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

火災の際には適切な呼吸器を着用する。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。
適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項
環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
少量の場合:吸着剤(土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
多量の場合:盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
二次災害の防止策
全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
(注意事項)
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
安全取扱注意事項
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。
接触回避
「10.安定性及び反応性」を参照
衛生対策
取扱い後はよく手を洗う。
保管
安全な保管条件
施錠して保管すること。
安全な容器包装材料
製品の容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標
管理濃度データなし
許容濃度
(n-ノナン)
日本産衛学会(1989) 200ppm; 1050mg/m3
(n-ノナン)
ACGIH(2012) TWA: 200ppm (中枢神経系障害)
(水素化された石油軽留分)
ACGIH(2003) TWA: 200mg/m3(P) (皮膚及び上気道刺激; 中枢神経系障害)
(モルホリン)
ACGIH(1996) TWA: 20ppm (眼損傷; 上気道刺激)
特記事項
(水素化された石油軽留分)
皮膚吸収
(モルホリン)
皮膚吸収
ばく露防止
設備対策
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具

手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質
基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態：液体
色：緑色
臭い：溶剤臭
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
沸点範囲データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点：なし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH：9
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度：0.96
相対ガス密度(空気=1)データなし
粒子特性：適用外

10. 安定性及び反応性
反応性
反応性データなし
化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件
混触危険物質との接触
混触危険物質
強酸、塩基、強酸化性物質、ハロゲン類
危険有害な分解生成物
燃焼の際は煙、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。

11. 有害性情報
毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[製品]

データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(モルホリン)
rat LD50=1050mg/kg (EHC 179, 1996; IARC 47, 1989; ACGIH 7th, 2001; PATTY 6th, 2012) et al.

急性毒性(経皮)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(モルホリン)
rabbit LD50=0.5mL/kg=504mg/kg (EHC 179, 1996; IARC 47, 1989; PATTY 6th, 2012; SIDS, 2015)

急性毒性(吸入)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(n-ノナン)
vapor: rat LC50=3200ppm/4hr (ACGIH 7th, 2012)
(モルホリン)
vapor: rat LC50=7.8mg/L/4hr=2192ppm/4hr(雌) (EHC 179, 1996); < 飽和蒸気圧濃度(10495ppm)の90%

皮膚腐食性/刺激性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(n-ノナン)
ラビット 中等度刺激性 (SIDS, 2013)
(モルホリン)
ヒト 腐食性 (SIDS, 2015); ラビット 腐食性 (EHC 179, 1996; IARC 47, 1989; ACGIH 7th, 2001; PATTY 6th, 2012; SIDS, 2015); EU CLP Skin Corr. 1B (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(n-ノナン)
角膜刺激性 (HSDB, 2014)
(モルホリン)
皮膚腐食性 区分1, ヒト/ラビット 強度の刺激性 (IARC 47, 1989; ACGIH 7th, 2001; IARC 47, 1989; PATTY 6th, 2012; EHC 179, 1996)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
データなし
皮膚感作性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
データなし
[IARC]
(モルホリン)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]
(水素化された石油軽留分)
A3(as total hydrocarbon vapor)(2003) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
(モルホリン)
A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]

[区分3(気道刺激性)]
[日本公表根拠データ]
(n-ノナン)
気道刺激性 (産衛学会許容濃度の提案理由書, 1989)
[区分3(麻酔作用)]
[日本公表根拠データ]
(n-ノナン)
麻酔作用 (産衛学会許容濃度の提案理由書, 1989)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[製品]
データ不足のため、分類できない。
[製品データ]
データなし
[成分データ]
データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性
[製品]
区分 1, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
[製品データ]
データなし
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(n-ノナン)
cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity < 7 mm2/s (40℃) (ICSC, 2012)

12. 環境影響情報
生態毒性
水生環境有害性
[製品]
区分 3, 水生生物に有害
区分 3, 長期継続的影響によって水生生物に有害
[製品データ]
データなし
[成分データ]
水生環境有害性 短期(急性)
[日本公表根拠データ]
(n-ノナン)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.2mg/L/48hr (SIDS, 2010)
(水素化された石油軽留分)
魚類 (ブルーギル) LC50=2.2mg/L/96hr (Aquire, 2009)
(モルホリン)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50=45mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2017)
水生環境有害性 長期(慢性)
[日本公表根拠データ]
(モルホリン)
甲殻類 (オオミジンコ) NOEC (繁殖阻害)=5.0mg/L/21days (OECD SIDS, 2013); 藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC(速度法)=30.9mg/L/72hr (環境省環境リスク評価,4巻, 2005)
水溶解度
(n-ノナン)
非常に溶けにくい (0.00002 g/100 ml, 25℃) (ICSC, 2011)
(水素化された石油軽留分)

0.15 g/100 ml (20℃) (ICSC, 2013)
(モルホリン)
混和する (ICSC, 2000)

残留性・分解性

[成分データ]
(n-ノナン)
急速分解性あり (BODによる分解度:96% (既存点検, 1996))
(モルホリン)
急速分解性なし (BODによる分解率:0% (化審法DB, 1979))

生体蓄積性

[成分データ]
(n-ノナン)
log Pow=5.65 (ICSC, 2011)
(モルホリン)
log Pow=-0.86 (ICSC, 2000); BCF=0.65(Check & Review, Japan)

土壌中の移動性

データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない
指針番号: 171

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 該当しない
正式輸送名 : 該当しない
分類または区分 : 該当しない
容器等級 : 該当しない

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当) : 非該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(X類)

n-ノナン
有害液体物質(Y類)
水素化された石油軽留分; モルホリン
有害でない物質(OS類)
水
MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
水生環境有害性: 長期(慢性) 区分1, 2 該当物質
水素化された石油軽留分
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない製品
有機溶剤等に該当しない製品
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
名称表示危険/有害物
水素化された石油軽留分(別表第9の551)
名称通知危険/有害物
水素化された石油軽留分(別表第9の551)
化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)
化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)
化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法
優先評価化学物質
モルホリン(政令番号81 人健康影響)
大気汚染防止法
有害大気汚染物質
モルホリン(中環審第9次答申の244)

16. その他の情報

参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取

扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和3年度（2021年度））です。